

埼玉県校長及び教員としての資質向上に関する指標（教諭）

新旧対照表（傍線部分は改正部分）

新	旧
<p>A学校運営 第1ステージ</p> <p>【学校組織マネジメント】</p> <p><u>学校における働き方改革を踏まえつつ</u>、学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>A学校運営 第2ステージ</p> <p>【学校組織マネジメント】</p> <p><u>学校における働き方改革を踏まえつつ</u>、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意識しながら、改善に向けた提案を行う等、意欲的に取り組む。</p> <p>A学校運営 第3ステージ</p> <p>【学校組織マネジメント】</p> <p><u>学校における働き方改革を推進しつつ</u>、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織が有機的に機能を果たせるよう、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、合意形成を図りながら円滑に運営する。</p>	<p>A学校運営 第1ステージ</p> <p>【学校組織マネジメント】</p> <p>学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>A学校運営 第2ステージ</p> <p>【学校組織マネジメント】</p> <p>学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意識しながら、改善に向けた提案を行う等、意欲的に取り組む。</p> <p>A学校運営 第3ステージ</p> <p>【学校組織マネジメント】</p> <p>学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織が有機的に機能を果たせるよう、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、合意形成を図りながら円滑に運営する。</p>

A 学校運営 第4ステージ

【学校組織マネジメント】

学校における働き方改革を推進しつつ、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 採用前

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性や背景等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や学習上・生活上の支援方法を身に付ける。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第1ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性や背景等を踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。

ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第2ステージ

A 学校運営 第4ステージ

【学校組織マネジメント】

学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 採用前

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や学習上・生活上の支援方法を身に付ける。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第1ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性を踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。

ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第2ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性や背景等に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。

教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。

D特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第4ステージ

【多様なニーズへの対応】

外部機関との連携を図り、学校全体として、特別な配慮や支援を必要とする生徒等個々の実態に応じた適切な指導・支援体制構築の中核となる。

学校全体でインクルーシブ教育システム等、多様なニーズへの対応に取り組むことの意義について、教職員相互の共通理解を深める。

欄外

\*「生徒等」とは幼児、児童、生徒のことを指します。また、「校長」には園長、「副校長」には副園長を含みます。

\*「特別な配慮や支援を必要とする生徒等」とは、特別支援学校、学びの多様な学校（いわゆる不登校特例校）、特別支援学級や通常の学級において、特別な配慮や支援（通級指

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。

教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。

D特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第4ステージ

【多様なニーズへの対応】

外部機関との連携を図り、学校全体として、特別な配慮や支援を必要とする生徒等個々の実態に応じた適切な指導・支援体制構築の中核となる。

学校全体でインクルーシブ教育システムに取り組むことの意義について、教職員相互の共通理解を深める。

欄外

\*「生徒等」とは幼児、児童、生徒のことを指します。また、「校長」には園長、「副校長」には副園長を含みます。

導・日本語指導を含む)を必要とする生徒等を指します。

埼玉県校長及び教員としての資質向上に関する指標（校長（管理職）） 新旧対照表（傍線部分は改正部分）

新	旧
<p>学校運営</p> <p><b>【学校における働き方改革】</b></p> <p><u>学校の取組内容を明確にし、改善を図りながら推進する。</u></p> <p>外部連携</p> <p><b>【開かれた学校づくり】</b></p> <p>学校の魅力に関する情報を積極的に発信し、家庭・地域等に説明責任を果たすとともに、<u>学校運営協議会</u>や学校評価懇話会等において、生徒、保護者、地域との意見交換を丁寧に行い、教育活動に対する理解を深め、信頼関係を構築し、連携・協働する。</p>	<p>学校運営</p> <p>（新規）</p> <p>外部連携</p> <p><b>【開かれた学校づくり】</b></p> <p>学校の魅力に関する情報を積極的に発信し、家庭・地域等に説明責任を果たすとともに、学校評価懇話会等において、生徒、保護者、地域との意見交換を丁寧に行い、教育活動に対する理解を深め、信頼関係を構築し、連携・協働する。</p>

埼玉県校長及び教員としての資質向上に関する指標（養護教諭） 新旧対照表（傍線部分は改正部分）

新	旧
<p>A学校運営 第1ステージ 【学校組織マネジメント】 <u>学校における働き方改革を踏まえつつ</u>、学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>A学校運営 第2ステージ 【学校組織マネジメント】 <u>学校における働き方改革を踏まえつつ</u>、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意識しながら、改善に向けた提案を行う等、意欲的に取り組む。</p> <p>A学校運営 第3ステージ 【学校組織マネジメント】 <u>学校における働き方改革を推進しつつ</u>、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織が有機的に機能を果たせるよう、学年、校務分掌、委員会等の組織において、諸会議等での合意形成を図りながら円滑に運営する。</p>	<p>A学校運営 第1ステージ 【学校組織マネジメント】 学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>A学校運営 第2ステージ 【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意識しながら、改善に向けた提案を行う等、意欲的に取り組む。</p> <p>A学校運営 第3ステージ 【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織が有機的に機能を果たせるよう、学年、校務分掌、委員会等の組織において、諸会議等での合意形成を図りながら円滑に運営する。</p>

A 学校運営 第4ステージ

【学校組織マネジメント】

学校における働き方改革を推進しつつ、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 採用前

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性や背景等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や学習上・生活上の支援方法を身に付ける。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第1ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性や背景等を踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。

ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第2ステージ

A 学校運営 第4ステージ

【学校組織マネジメント】

学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 採用前

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や学習上・生活上の支援方法を身に付ける。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第1ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性を踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。

ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第2ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性や背景等に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。

教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。

D特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第4ステージ

【多様なニーズへの対応】

外部機関との連携を図り、学校全体として、特別な配慮や支援を必要とする生徒等個々の実態に応じた適切な指導・支援体制構築の中核となる。

学校全体でインクルーシブ教育システム等、多様なニーズへの対応に取り組むことの意義について、教職員相互の共通理解を深める。

欄外

\*「生徒等」とは幼児、児童、生徒のことを指します。また、「校長」には園長、「副校長」には副園長を含みます。

\*「特別な配慮や支援を必要とする生徒等」とは、特別支援学校、学びの多様な学校（いわゆる不登校特例校）、特別支援学級や通常の学級において、特別な配慮や支援（通級指

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。

教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。

D特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第4ステージ

【多様なニーズへの対応】

外部機関との連携を図り、学校全体として、特別な配慮や支援を必要とする生徒等個々の実態に応じた適切な指導・支援体制構築の中核となる。

学校全体でインクルーシブ教育システムに取り組むことの意義について、教職員相互の共通理解を深める。

欄外

\*「生徒等」とは幼児、児童、生徒のことを指します。また、「校長」には園長、「副校長」には副園長を含みます。

導・日本語指導を含む)を必要とする生徒等を指します。

埼玉県校長及び教員としての資質向上に関する指標（栄養教諭） 新旧対照表（傍線部分は改正部分）

新	旧
<p>A学校運営 第1ステージ 【学校組織マネジメント】 <u>学校における働き方改革を踏まえつつ</u>、学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>A学校運営 第2ステージ 【学校組織マネジメント】 <u>学校における働き方改革を踏まえつつ</u>、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意識しながら、改善に向けた提案を行う等、意欲的に取り組む。</p> <p>A学校運営 第3ステージ 【学校組織マネジメント】 <u>学校における働き方改革を推進しつつ</u>、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織が有機的に機能を果たせるよう、学年、校務分掌、委員会等の組織において、諸会議等での合意形成を図りながら円滑に運営する。</p>	<p>A学校運営 第1ステージ 【学校組織マネジメント】 学年、校務分掌、委員会等について、担当業務の責任を自覚し、管理職や同僚への報告・連絡・相談を行いながら、自己の役割を適切に果たす。</p> <p>A学校運営 第2ステージ 【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学年、校務分掌、委員会等の諸会議等において、学校全体の運営を意識しながら、改善に向けた提案を行う等、意欲的に取り組む。</p> <p>A学校運営 第3ステージ 【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各組織が有機的に機能を果たせるよう、学年、校務分掌、委員会等の組織において、諸会議等での合意形成を図りながら円滑に運営する。</p>

A 学校運営 第4ステージ

【学校組織マネジメント】

学校における働き方改革を推進しつつ、学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 採用前

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性や背景等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や学習上・生活上の支援方法を身に付ける。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第1ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性や背景等を踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。

ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第2ステージ

A 学校運営 第4ステージ

【学校組織マネジメント】

学校組織マネジメントの意義を理解した上で、学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 採用前

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や学習上・生活上の支援方法を身に付ける。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第1ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等に関する基本的な知識や考え方を身に付け、その特性を踏まえ、一人一人に応じた支援を行う。

ユニバーサルデザインの視点を意識した環境づくりを行う。

D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第2ステージ

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性や背景等に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。

教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。

D特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第4ステージ

【多様なニーズへの対応】

外部機関との連携を図り、学校全体として、特別な配慮や支援を必要とする生徒等個々の実態に応じた適切な指導・支援体制構築の中核となる。

学校全体でインクルーシブ教育システム等、多様なニーズへの対応に取り組むことの意義について、教職員相互の共通理解を深める。

欄外

\*「生徒等」とは幼児、児童、生徒のことを指します。また、「校長」には園長、「副校長」には副園長を含みます。

\*「特別な配慮や支援を必要とする生徒等」とは、特別支援学校、学びの多様な学校（いわゆる不登校特例校）、特別支援学級や通常の学級において、特別な配慮や支援（通級指

【多様なニーズへの対応】

特別な配慮や支援を必要とする生徒等の特性に応じた理解を深めるとともに、多様性を認め共に成長する集団づくりに他の教職員と協働して取り組む。

教科・学年等と連携し、効果的な指導法の情報発信を行い、校内で共有・活用する。

D特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応 第4ステージ

【多様なニーズへの対応】

外部機関との連携を図り、学校全体として、特別な配慮や支援を必要とする生徒等個々の実態に応じた適切な指導・支援体制構築の中核となる。

学校全体でインクルーシブ教育システムに取り組むことの意義について、教職員相互の共通理解を深める。

欄外

\*「生徒等」とは幼児、児童、生徒のことを指します。また、「校長」には園長、「副校長」には副園長を含みます。

導・日本語指導を含む)を必要とする生徒等を指します。